

(令和4年度第2次補正) 静岡県地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **藤枝市** (都道府県: **静岡県**)  
 本事業の担当部局名 **企画創生部 広域連携課**

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		1.1.2 結婚希望者の出会いの機会づくりを目的としたイベント・スキルアップセミナー			
個別事業名		出会いの機会創出事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	R4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		900,000 円			
市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)			
		<p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      藤枝市第6次総合戦略においては、「幸せになるまち”藤枝づくり”を理念に、基本目標を目的別に7つ定め、それぞれの政策・施策の方向性を示している。                      その基本目標2「市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり」の中で、政策の基本方針として、次代を担う若者の就労・結婚・出産・育児の希望がかない、また、出生率向上を図るため、独身男女の出会いのきっかけづくりが位置付けられている。                      また、第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略では、「結婚・新生活支援の推進」への取組として、若い世代の結婚意識醸成により、結婚を促進するため、25歳～34歳までの市民の有配偶者率をKPIとして設定し取り組んでいる。</p>			
		<p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>本市では、コロナ以前に、男女の出会いの機会を創出する事業等を実施していたが、その時点では、大人数参加型が多く、マッチング率も低い状況であり、また、マッチング後のフォロー体制も十分ではなかった。                      令和3年度に、県・市町と連携して「ふじのくに結婚応援協議会」を設立し、「出会いサポートセンター」を運営することでフォローアップ体制について整備されたことを受け、民間企業や団体のノウハウや知見を活用し、年間を通じて、少人数で複数回の出会いの事業を実施するなど、基本目標達成に向けて取り組んでいく。</p>			
個別事業の内容 ※(注)3		(課題への対応)			
		<p>若い世代の県民を対象としたアンケート調査では、「結婚を希望するが、出会いがない」と回答する割合が高く、また、本市のイベント後のアンケート調査でも、「もっと機会を多くして欲しい」などの地域ニーズがあったことから、まずは、出会いの機会を複数回に増やすとともに、他市町等と情報交換を行い、民間企業や団体等と連携することで、事業内容をブラッシュアップする。加えて、マッチングしたカップルについては、サポートセンターを通じてフォローアップすることで成婚率向上を図る。</p>			
		番号	項目	内容	ステップアップ
1	スキルアップセミナー&婚活バスツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナー・身だしなみ講座などの婚活スキルアップセミナーを開催し、その参加者が、市内をめぐり、体験を通じてマッチングを図るバスツアーを実施する。</li> <li>街中のテレワーク施設やクッキングスタジオでのイベントや、中山間地域での農業体験など、本市の「ほどよく都会、ほどよく田舎」の魅力体験を通じて男女の出会いの機会を創出する。</li> <li>セミナー及びバスツアーの参加者には、ふじのくに出会いサポートセンターのチラシを配布し、登録促進を図る。</li> </ul> <p>出会いの機会の減少が課題となっているため、上記のセミナー・ツアーを数回実施し、事業内容ごとにブラッシュアップする。</p> <p>スキルアップセミナーは年に2回開催し、参加者は45人を想定。                      婚活バスツアーは、年に3回実施し、参加者は45人を想定。</p>	○	○	
2					
3					
【次年度以降に向けた事業の方向性】					
<p>・次年度以降、参加者のアンケートを分析し、よりマッチング率が向上するよう事業内容をブラッシュアップするとともに、市は「意識啓発」などの結婚に対する機運醸成に向けた情報発信役を担い、民間主導でのサービスを支援する。</p>					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
	出生数	人	1,060 (R6)	866 (R3)
	婚姻年間届出数	件	552 (R6)	477 (R3)
	25歳から34歳までの市民の有配偶者率	%	44 (R6)	36.8 (R3)
	不妊治療助成件数	件	258 (R6)	331 (R3)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.49 (H25～H29厚生労働省：R2公表値)	
	婚姻件数	件	474 (R2静岡県人口動態統計：R4公表値)	
	婚姻率	%	3.4 (R2静岡県人口動態統計：R4公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	セミナー及び実践イベントの開催			(R3年度実績)
	アウトプット 参加者数	人	90	-
	参加予定割合	%	100	-
	アウトカム カップル成立率	%	50	-
	他の婚活にも参加したいと感じた参加者の割合(満足度)	%	80	-
	セミナー受講後、自身がついたという参加者の割合(満足度)	%	80	-
	システムに登録していると回答した参加者の割合	%	60	-
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	県や市町と連携して情報交換等を行い、効率的かつ効果的に、本事業へのブラッシュアップを図る。イベント参加者へサポートセンターへの登録を促すことや、センターが実施する満足度アンケートを行うなどして連携し、広域的な結婚支援や情報発信における相互協力を図っていく。			
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	本市の結婚支援事業は、市、商工会議所、民間団体など、官民連携のもと推進していく。個別事業については、民間事業者のノウハウやアイデアを活用し、事業コーディネーター等と連携していく。			

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。
  - ①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け
  - ②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)
  - ③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
  - ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
  - ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
  - ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
  - ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。